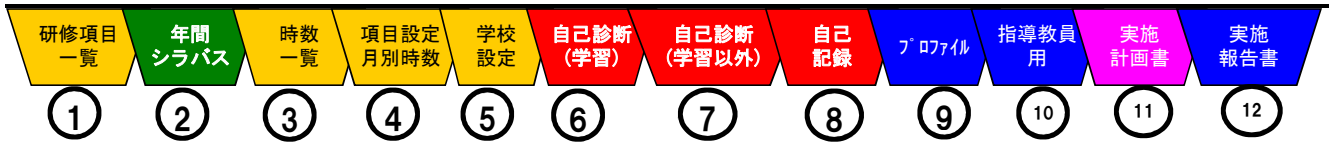


2年次研修支援ファイルの説明です

今後、校内研修を進めるために重要です 必ず確認してください
(シート・シラバス・自己診断)

各シートの説明

各教育委員会等へ提出する書類



① 研修項目一覧 ⇒ 「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」の必修の30の研修項目を表示しています。◎ここで研修項目・内容と番号を確認してください。

② 年間シラバス ⇒ 5月から3月までのモデルプランを設定しています。
4月は、「1年次研修の振り返り」と「2年次研修の目標設定」をします。
◎学校の実態に応じて、研修項目の変更・追加は可能です。

重要: 毎期の入力が必要です
事前に副校長の確認を受け、
研修実施後ごとに入力し期末
には副校長・指導教員に提出
して確認を受けます

③ 時数一覧 ⇒ 期別、領域別に予定時数と実施時数を表示しています。
◎研修時数の管理をします。

④ 項目設定 ⇒ 研修項目の設定状況を表示しています。設定の回数及び未設定の項目が分かります。
月別時数 ⇒ 毎月の研修予定(実施)時数の分布を確認します。予定(実施)状況の偏りがわかります。

⑤ 学校設定 ⇒ 学校独自で設定し、追加した研修内容等をここに表示しています。

⑥ 自己診断(学習) ⇒ 【学習指導力】3回実施する授業研究後にこのシートで自己診断を行います。
◎各項目ごとにA~Dで入力します。

⑦ 自己診断(学習以外) ⇒ 7月と1月にこのシートで自己診断を行います。 ◎各項目ごとにA~Dで入力します。

⑧ 自己記録 ⇒ 7月と1月の自己診断のときに、(学習指導力も含めて)研修の成果記録として入力します。
◎自己の成長や力量の伸びについてコメントを記入します。

⑨ プロファイル ⇒ 学習指導力の3回の自己診断と学習指導力以外の7月と1月の自己診断の結果を一覧で表示します。

⑩ 指導教員用 ⇒ 学習指導力の3回の自己診断と学習指導力以外の7月と1月の自己診断の結果を確認するためのものです。

提出する書類 { ⑪ 実施計画書 ⇒ 5月に【都立学校以外は】区市町村教育委員会・各出張所に提出する
【都立学校は】東京都教職員研修センターに提出する

* 「はじめに」の必要事項を入力すれば自動的に完成

⑫ 実施報告書 ⇒ 2月に【都立学校以外は】区市町村教育委員会・各出張所に提出する
【都立学校は】東京都教職員研修センターに提出する

* 自動的に完成(校外における研修・学校長所見を除く)

※実施見込みで「3月」分は含めておくこと。

各期の年間シラバス 説明と作成方法

*このシラバスシートは5年間の保管

各期の開始前に副校長・指導教員に提出し、確認を受けたらチェックボックスにチェックを入れる(入れると下段に「確認済み」が表示される)

期末に提出しそれぞれ確認印をもらうこと

モデルプランで配布しています。
各校の行事予定等を考慮して、独自の年間シラバスを作成してください。

「研修項目一覧」に示した30項目の研修項目は必修です。

予定時数はここで確認する

副校長による事前確認チェック!
副校長確認済み
 指導教員による事前確認チェック!
指導教員確認済み

副校長事後確認
(印)
指導教員事後確認
(印)

1. 学習指導に関する研修

月	NO	分類	研修項目	予定 時数	主な研修内容 ※必要に応じて関連する内容も取り入れる	実施日		実施 時数	関係資料	テキスト	サポート (OJT)
						何日に実施 したか	何校時に 実施したか				
5	1	A	授業基礎①	1.0	基礎的・基本的な授業力の定着について	3	1				
5	2		どの研修項目を 実施するか	1.0							
6	4			1.0							
6	5			1.0							
								1.0			

**入力するのは
1 2 3 4 5 6
色の付いた
ところだけ**

**2 はモデルプランで
設定済み
(受講者・学校の状況により
設定変更できます)**

研修項目一覧
NO 1~15から選択

実施する校時を数字で!
例) 5校時の場合は 5 と入力

1単位時間 ⇒ 1.0
1単位時間と半分30分 ⇒ 1.5
1単位時間の半分 ⇒ 0.5

学校独自の研修を行う場合は、
この欄に「※」印を入れます。
また、「サポート」までの欄を直接入力します。

研修項目一覧
NO 16~30から選択

2. 学習指導以外に関する研修

5	16	B	生徒相互の人間関係づくり	1.0	「不登校」の予防を踏まえた学級経営の在り方と家庭との連携					37	生活指導主任
<p>研修番号 16 を入力すれば、 分類/研修項目/時数/主な研修内容/関連資料/テキスト/サポートが自動に表示されます。(ない場合は空欄のまま) (※「4月」は、「1年次の振り返り」と「目標設定」のため別様式になっています。)</p>											
							外				

放課後(週時程外)、長期休業中で実施した場合
「外」と入力

自己診断の方法

説明と作成方法

例

留意点

自己診断は自己の力量を向上させるために行うものです。
そのため、診断結果については**指導教員に提出し、「適切さ」について話し合ってください。**また、3年次研修の目標設定のため、
◎3月の副校長との面談で診断結果について話し合いをしてください。

**学習指導力
記入例**

学習指導力に関する自己診断

◎1年次の1月の自己診断結果が C or D の項目は、2年次も校内でのOJTを生かした改善・向上を図る。

A : 十分達成している B : ある程度達成している C : もう少しで達成する D : まだ不足している

他者診断

分類 「教師が身に 付けるべき力」	1年次 到達目標	1月 結果
授業を デザインする力 (学習指導の計 画)	学期・月ごとの指導内容を事 前に把握する	A
	週の指導計画(週案簿)を詳 細に作成し、授業を進める	B
	1年次研修の1月の 診断結果をA~Dで入力する	C
ねらいに沿って 学習を進める力 (ねらいと展開)	ねらいを確認する	D
	本時の具体的なねらいを設 定して授業を行う	A
	基礎的・基本的な学習の定 着に努める	B
生徒の興味を 引き出し個に応じ た指導をする力	生徒の学習への関心・意欲 を高める	C
	学習内容を分かりやすく指導 するために工夫する	D
主体的な学習を 促すことができる 力 (実践的な指導技 術)	生徒が主体的に取り組む指 導を行う	A
	学習評価の観点と場面・方 法を適切に設定する	B
学習状況を 適切に評価し 授業を進める力 (学習状況の評 価)	生徒一人一人の学習状況を 的確に把握する	C
	理解が不十分な学習内容を 確認し、解決に取り組む	D
	授業後に計画と実施、結果 について振り返る	A
授業を振り返り 改善する力 (授業の改善)	自分の授業課題について認 識する	A
	改善を取り入れた授業を実 施する	A

2年次 到達目標	授業力 6要素	学習指導案の視 点	2年次実施			副校長 3回目 授業研究後
			1回目 授業研究後	2回目 授業研究後	3回目 授業研究後	
単元の教材・題材について 分析・解釈することができる (専門的知識・技能)	教材解釈・開発	単元の目標 単元観、教材観	B	B	A	O
ねらいに基づいた学習指導案を 作成することができる (授業構想力)	教材解釈・開発 指導技術	単元の指導計画 指導観	C	B	A	
板書や掲示物、資質を活用し思考・理解 を促すことができる (思考力の育成)	指導技術	3回の授業研究後にそれぞれ 診断結果をA~Dで入力する	D	B	A	
単元 を 教 科 単 元 の 学 習 目 標 を 確 認 す る	指導技術 児童生徒理解	指導にあたって				
授業 に 関 心 を 持 つ こ う な こ と が で き る (規律)	指導技術 児童生徒理解	指導にあたって				
場面や状況に応じた指導技術を 生かすことができる (発問・指示・説明・板書等)	児童生徒理解 指導技術	指導観				
適切な場面と方法で学習状況を 評価することができる (評価能力)	指導と評価(作成)	単元の評価規準 本時の評価方法				
児童・生徒の学習状況に応じて授業を 展開することができる (実態把握)	統率力 指導と評価	指導上の留意点 評価規準	A	B	C	
児童・生徒の学習課題の解決策を 立てることができる (課題解決力)	指導と評価(改善)	授業観察の視点 本時の評価規準	D	B	D	
授業改善のPDCA サイクルを生かすことができる (授業改善)	指導と評価(改善)	授業観察の視点 本時の評価規準	A	B	D	

【他者診断の入力手順】
①「自己診断シート」をプリントアウトし3月の副校長との面談を受ける。
②副校長は、向上が認められると判断できる項目「3つ」を必ず選び出し、プリントアウトされた「自己診断シート」に記入して2年次教員に渡す。
③2年次教員は、評価された項目について、プルダウンメニューから「O」を入力する。

「年間シラバス」の「4月」のシートで、「1年次研修において見出した自己の課題」の中で「学習指導力」に入力すると自動的に反映される

【個人設定到達目標】		自己 評価
※4月当初に記入した「今年度の私の到達目標(学習指導力)」が反映される		

**生活・進路指導力
記入例**

- A : 十分達成している
- B : ある程度達成している
- C : もう少して達成する
- D : まだ不足している

B. 生活指導力・進路指導力に関する自己診断

種別	分類 教師が身に付けるべき力	到達目標 (基本的な行動指針)	7月末	1月末	取り組みの具体例 ●指導教員から指摘・助言されたことも含む	主な視点
必	生徒と良好な関係を構築する力 (生徒との関係づくり)	①個々の児童を理解するとともに学級集団を活用し、②児童の人間関係形成のために必要な態度や力を育成している。	B		・互いの長所を認め合う場を意図的に設定している ・様々な場面で協力したり意思を交わす活動を積極的に取り入れている	他者理解、協働意識
必	生徒の思いを理解し適切に指導する力 (生活指導)	①児童の心をつなぐコミュニケーションの在り方とともに褒め方や叱り方、②児童との信頼関係が築かれている。	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>A~Dで自己診断を行う 留意点 Bが基準ライン</p> <p>Aの判断 「他者からも取り組みが十分認められている状態」</p> <p>・当該項目の内容について周囲に好ましい影響を与える取り組みがみられる等</p> </div>		・発達的に学級のルール作りを児童ができる。	自己診断に関する視点です
必	安全・危機管理に努める力 (安全指導と危機管理)	①教育活動における危険の予測を怠らず学校内・校外の危険を把握するとともに、②児童が日常生活における危険を認識し回避できる力を身に付けている。			・「危機管理」に関する指導が学校区内で行われている	診断するときの参考例です ※これできていればBというものではありません
必	健全な心身を育成する力 (心身の健全育成)	①「児童虐待防止法」のポイントを理解するとともに虐待の予兆を見落とさないための情報収集を徹底している。			・児童の示す危険な行動を未然に防いでいる	・傾聴、カウンセリングマインド、慮
必	生徒の個性や社会性を育む力 (個性・能力)	①児童が自分の悩みや不安を自ら解消できる道徳や特活などの具体的な場面を通して指導者の健康の大切さを身に付けている。			・学級において互いの果たす役割に関心をもたせるよう指導している	・自尊敬、集団生活
必	生徒の個性や社会性を育む力 (個性・能力)	①「年間シラバス」の「4月」のシートで、「今年度の私の到達目標」のうち「生活指導力・進路指導力」に入力すると自動的に反映される			・「悪口やひやかしは厳しく指導している」 ・場に応じた丁寧な言葉遣いを指導している	言語環境、集団指導
必	健全な心身を育成する力 (心身の健全育成)	①児童が自分の悩みや不安を自ら解消できる道徳や特活などの具体的な場面を通して指導者の健康の大切さを身に付けている。	・きまりの意味や正しい行動について話をしている	・集合や整列などの基本的な行動を重視して指導している	集団規律 集団行動	
必	安全・危機管理に努める力 (安全指導と危機管理)	①教育活動における危険の予測を怠らず学校内・校外の危険を把握するとともに、②児童が日常生活における危険を認識し回避できる力を身に付けている。	・教室や廊下に危険箇所がないか意識し、教室を整えている	・用具、器具などの正しい使い方を指導している	安全指導、点検	
必	生徒の個性や社会性を育む力 (個性・能力)	①「年間シラバス」の「4月」のシートで、「今年度の私の到達目標」のうち「生活指導力・進路指導力」に入力すると自動的に反映される	・毎朝、一人一人の表情を見て健康観察を行っている	・児童に生活を振り返らせ、生活リズムの改善を進めている	生活改善、自主自立	
必	健全な心身を育成する力 (心身の健全育成)	①児童が自分の悩みや不安を自ら解消できる道徳や特活などの具体的な場面を通して指導者の健康の大切さを身に付けている。	・一人一人の長所を見つけ、自信をもたせるようにしている	・学習や行事等で達成感を味わわせるようにしている	個性 自己有用感	

【個人設定到達目標】 ※4月当初に記入した「今年度の私の到達目標（生活指導・進路指導力）」が反映される	自己診断（1月）

- A: 十分達成している
- B: ある程度達成している
- C: もう少しで達成する
- D: まだ不足している

外部との連携折衝力等の記入例

C. 外部との連携・折衝力に関する自己診断

種別	分類 教師が身に付けるべき力	到達目標 (基本的な行動指針)	7月末	1月末	取り組みの具体例 ●指導教員から指摘・助言されたことも含む	主な視点
必	保護者等に適切に対応する力 (保護者とのかかわり)	①保護者会や個人面談等の進め方・内容を工夫し、②保護者とのコミュニケーションを充実させている	C	D	・保護者の思いに正対し、気軽に何でも相談を受けられるようにしている ・情報交換の場として互いに成果を上げられるように運営している	保護者会・個人面談 信頼関係
必	課題に応じて連携をとり解決に向けて取り組む力 (課題の解決)	①「いじめ」「不登校」「自殺」など課題ごとの連携対象を理解し、②適切な対応している			・連携対象について把握している ・連携し、組織的な対応となるようにしている	関係諸機関の把握 組織対応
必	外部との協働の下、自校の教育の向上を図る力 (外部との協力・協働)	①地域行事やPTA活動ネットワークをつくっている			・地域理解 ・協働に対し主体的に関与している ・連携した学校としての具体的な取組をしている	地域理解 ネットワーク
必	情報発信・収集を適切に行う力 (情報の発信・収集)	①個人情報保護・情報セキュリティを高めるとともに、②授業にICT機器を活用している			・セキュリティの意識を高め、その徹底を自覚している ・ICT機器を積極的に活用し、効果的な情報収集・発信を行っている	ICT機器 情報セキュリティ 情報収集・活用
必	教師としての基本的な姿勢 (教師としての姿勢)	①児童を慈しみ、教え・諭し・導く者の立場を自覚し、②不断の修養に努めている	C	D	・教育者としての立場を自覚し、児童・保護者の願いに応えようとしている ・自らの人格を磨き、研修と修養に努めている	謙虚、児童理解 人柄、自己修養
7	教師としての基本的な姿勢 (教師としての姿勢)	ここに、1年次の「診断結果」を踏まえて下の選択肢から、 必要に応じて2つまで選択して入力する。 (学校運営力・組織貢献力も同じ方法)			・教育としての力量を高めるために主体的に研修に取り組んでいる ・児童の模範となるような言葉づかいや態度で接している	責任感と誇り 人間性、社会性
6	情報発信・収集を適切に行う力 (情報の発信・収集)				・様々な外部情報を集める教材研究に生かしている ・図書館やインターネット等を活用し、関連資料を授業に生かしている	情報収集・活用

1 から 5 の注意事項は「生活指導力・進路指導力」の説明と同じ

【個人設定到達目標】 ※4月当初に記入した「今年度の私の到達目標（外部との連携・折衝力）」が反映される	自己診断（1月）

C. 外部との連携・折衝力に関する「自己診断選択肢」

選択番号	分類 教師が身に付けるべき力	到達目標 (基本的な行動指針)			取り組みの具体例 ●指導教員から指摘・助言されたことも含む	主な視点
1	保護者等に適切に対応する力 (保護者とのかかわり)	保護者との望ましい信頼関係づくりに努めている			・学級の様子や児童の成長について具体例をあげて伝えている ・教室の整理整頓や、学習の様子がわかる指示物を工夫している	保護者会 個人面談
2	保護者等に適切に対応する力 (保護者とのかかわり)	保護者の気持ちや思いを理解し、丁寧に対応している			・欠席児童の保護者には、当日中に明日の持ち物等を連絡している ・苦情や相談は即答せず、指導教員へ相談している	保護者への連絡 学年対応
3	課題に応じて連携をとり解決に向けて取り組む力 (課題の解決)	担任としての学習・生活指導の考え方を保護者に伝えている			・学級の課題に対する取り組みについて丁寧に説明している ・基本的な生活・学習習慣についての協力を働きかけている	経営方針 学級づくり
4	課題に応じて連携をとり解決に向けて取り組む力 (課題の解決)	問題行動へは迅速かつ適切に対応し、解決に向けて取り組んでいる			・トラブルはその場で事実を確認し、話し合わせて解決させている ・本人から理由をよく聞き、正しい態度・行為を教えている	児童間のトラブル 問題行動
5	外部との協働の下、自校の教育の向上を図る力 (外部との協力・協働)	地域や外部の人材・施設を活用している			・校外学習や調べ学習などで人材や施設を活用している ・学校行事などで、地域の方々との交流をもつようにしている	校外学習 学校行事
6	情報発信・収集を適切に行う力 (情報の発信・収集)	授業に役立つ資料の収集・活用をしている			・様々な外部情報を集める教材研究に生かしている ・図書館やインターネット等を活用し、関連資料を授業に生かしている	情報収集・活用
7	教師としての基本的な姿勢 (教師としての姿勢)	教育に対する熱意と使命感をもち、豊かな人間性と思いやりを大切にしている			・教育としての力量を高めるために主体的に研修に取り組んでいる ・児童の模範となるような言葉づかいや態度で接している	責任感と誇り 人間性、社会性

自己診断の流れ

前年度3月…2年次の目標設定
*副校長との面談

4月…1年次研修の振り返り
2年次到達目標の確認

5～7月 授業研究1回目
(学習指導自己診断)

7月…第1回 自己診断
(学習指導以外)

8～12月 改善への取組
9～12月 授業研究2回目
(学習指導自己診断)

1月…第2回 自己診断
(学習指導以外)

1～2月 授業研究3回目
(学習指導自己診断)

2～3月 改善・まとめ
3月…3年次の目標設定
*副校長との面談

3年次研修の開始

年間シラバスに基づく校内研修

診断結果について指導教員と相談
個別課題を踏まえた研修の計画づくり
<8月～12月>

診断結果について指導教員と相談
個別課題を踏まえた研修の計画づくり
<2月～3月>

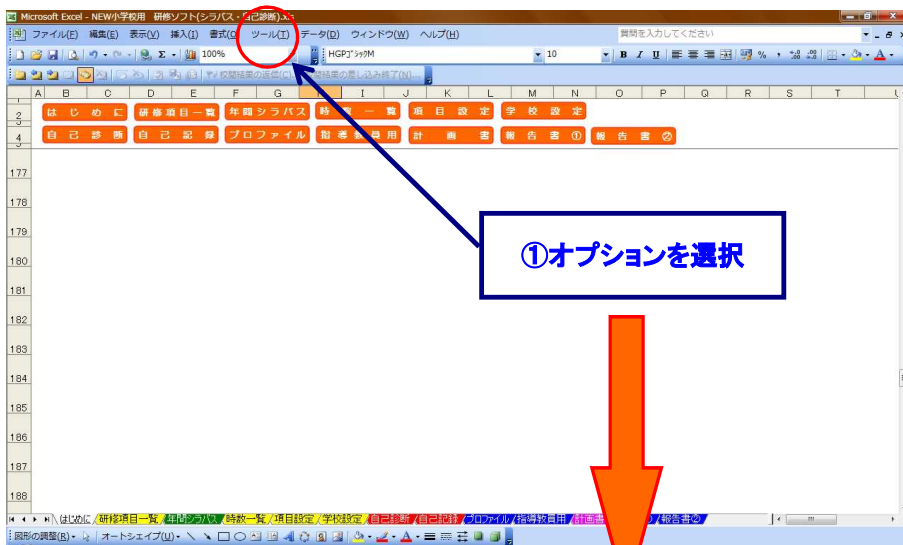
診断結果について副校長と確認・相談
3年次研修の内容について計画を立てる

到達目標の設定
年間シラバスの確認

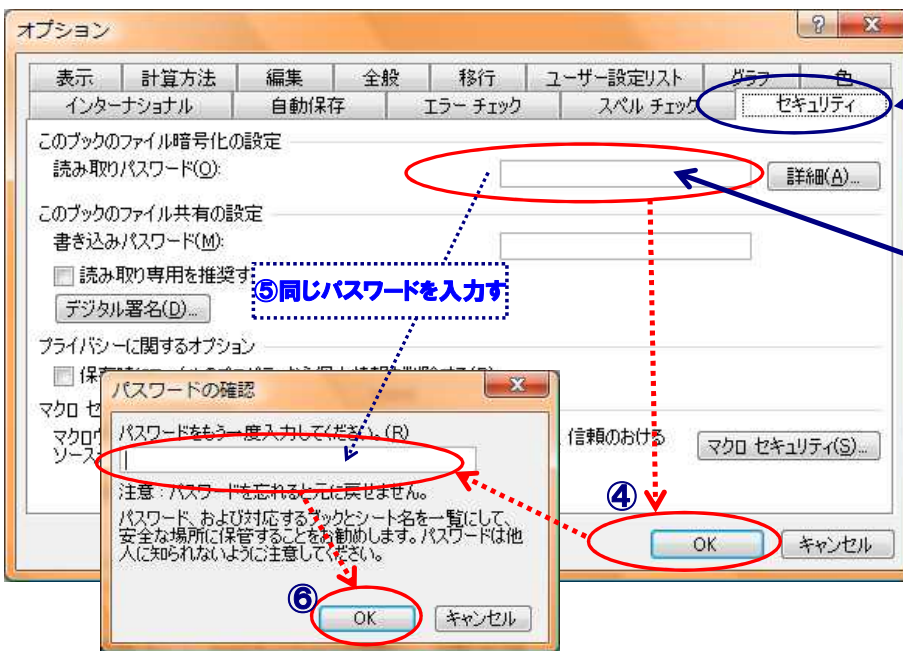
パスワードの設定

個人情報を含むので、パスワードをかけて管理しましょう。

※上記はエクセル2003の例です。お使いのバージョンに応じて設定方法が異なります。



① オプションを選択



② クリック

③ パスワードを入れる

* 忘れないこと
* 指導教員と共有すること

参考/学校の電話番号など

④

⑥